

草の根・人間の安全保障無償資金協力

令和元年度「デッサ州カパラムラ小学校教室建設および修繕計画」

起工式

2020年2月28日



定礎を行う岩切大使



スピーチを行う岩切大使



(左) カパラムラ小学校および関係者の歓迎を受ける岩切大使



(右) スピーチを行うグンブ・デッサ州議会議長



(左) スピーチを行うガヤイヤ・デッサ州教育マネージャー



(右) スピーチを行うカパラムラ小学校ドンダ校長



(左) 感謝の歌を披露するカパラムラ小学校児童達



(右) 伝統的な踊りを披露する地域住民



岩切大使を囲むカパラムラ小学校児童達

2020年2月28日、デッサ県デッサ地区において、草の根・人間の安全保障無償資金協力「デッサ県カパラムラ小学校教室建設および修繕計画」の起工式が行われました。式典には、グンブ・デッサ県議会議長やガヤイヤ・デッサ県教育マネージャーも列席しました。

カパラムラ小学校は、上記無償資金協力による供与金90,215米ドルを用いて、新たに6教室を建設し、既存4教室の床を改修し、学習機や貯水タンクの設置を行います。この資金供与は、国の成長と発展に不可欠な人材育成において重要な基盤を形成する基礎教育・初等教育の質の向上を図り、就学児童の学習環境及び教育環境の改善および出席率の向上に寄与することが期待されます。

式典中、岩切大使は、児童を取り巻く厳しい教育環境に懸念を表わすとともに、本プロジェクトが、児童や教師にとって大きな誇りとモチベーション向上のきっかけとなり得る可能性についての期待を表明しつつ、これを実現するためには学校関係者やデッサ県教育委員会による適切な管理運営があつてこそ可能であることも強調しました。また、本教室建設のクオリティー基準の管理を行い、供与資金が本プロジェクトの実施に適切に使用されるように監視するよう学校および県教育委員会関係者に要請しました。

大使は最後に、本プロジェクト実施にあたり問題に直面した時には、必要な助言を求めていつでも大使館に連絡するように伝えました。本式典に出席したデッサ県および学校関係者から、日本政府および国民の皆さんに対して、本プロジェクト贈与に関する謝辞が述べられました。